

令和3年1月14日

庄内町長 原 田 眞 樹 殿

庄内町保健医療福祉推進委員会

委員長 水尾 良孝

## 答 申 書

令和2年10月1日付、諮問第4号で諮問がありました下記計画策定について、庄内町保健医療福祉推進委員会条例第2条の規定に基づき、下記のとおり答申いたします。

### 記

#### 1 委員会の開催状況

令和2年 6月18日 (木)	第1回保健医療福祉推進委員会
令和2年10月 1日 (木)	第2回保健医療福祉推進委員会
令和2年12月24日 (木)	第3回保健医療福祉推進委員会
令和3年 1月12日 (火)	第4回保健医療福祉推進委員会 (書面決議)

#### 2 審議した答申事項

- (1) 庄内町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
- (2) 第6期庄内町障がい福祉計画、第2期庄内町障がい児福祉計画の策定について

#### 3 委員名簿

菅原源也、齊藤学、相田健治、横山時雄、秋庭道雄、青塚玲子、庄司武晴、齋藤君夫、鎌田剛、水尾良孝、成澤かほる、鈴木愛、工藤むつ子、高橋大輔

#### 4 審議結果

上記計画案は、各計画の前期実績に基づいた評価・分析及びニーズ調査結果等を踏まえて新たな施策や取組として取りまとめられたものであり、本委員会にお

いて審議した結果、原案について妥当なものと認めます。

また、委員会全体の意見として、下記のとおり提出します。

#### 各計画に対する意見

##### (1) 庄内町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画(案)について

- ① 介護人材の確保については、介護職の魅力の発信と処遇改善を図るとともに、養成機関や学校等との連携強化及び事業所への更なる情報提供に努められたい。
- ② 高齢化の進行により、高齢者世帯や認知症高齢者の増加は社会的問題となっており、元気な時から介護状態にならない高齢者を増やすための介護予防活動及び高齢者の自立に向けた日常生活支援の拡充を図るとともに、若年性認知症を含めた認知症支援策及び地域全体で高齢者を見守る体制づくりを推進し、家族支援の更なる充実に努められたい。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響下で人との交流が自粛される中、介護予防や社会参加をどのように進めるかが課題となっており、身体機能、認知機能、社会性や人とのつながりを維持するよう、オンラインによる事業展開等、感染防止に努めながら、地域で互いに支え合う自主的な介護予防活動が継続できるよう検討されたい。
- ④ 第8期における被保険者数は令和3年度以降、減少に転ずる見込みであるが、要介護等の認定者数は微増で推移するものと予測されている。  
保険料については、サービス利用者の増加による給付費の増大や介護報酬の引上げ等の増加要因が見込まれ、第1号被保険者の負担増大に直結することから、負担軽減を図るため、これまで積み立てた介護給付費準備基金の活用等による介護保険料の抑制及び低所得者層への配慮をお願いしたい。

##### (2) 第6期庄内町障がい福祉計画、第2期庄内町障がい児福祉計画(案)について

- ① 新庁舎建設に伴い、一元化して設置された福祉総合相談センターが住民にとって身近な相談窓口として、利用推進が図られるとともに、地域共生社会の実現に向け、地域全体で障がいのある方とその家族を支援する体制の強化が図られるよう、周知徹底と相談機能の充実に努められたい。